

-会 議 録-

会議の名称	第24期東村山市社会教育委員会議（第3回）				
開催日時	令和3年10月20日（水）午後7時～9時				
開催場所	東村山市役所市民センター第2・3会議室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉本みさ子議長・森田 明美副議長</li> <li>・吉満 洋子委員・織茂 直樹委員</li> <li>・福島 真理委員・上田 幸夫委員</li> <li>・伊藤 二葉委員・片岡 了委員</li> <li>・小山 武士委員・桑原 純委員</li> </ul> <p>（市事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝岡 雅洋 社会教育課長</li> <li>野崎 美里 社会教育課生涯学習係長</li> <li>加治 駿 社会教育課 主事</li> </ul> <p>●欠席者： （委員）</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1. 開会 （1）あいさつ（議長、課長）</p> <p>2. 協議事項 （1）令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会 （2）令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会被表彰候補者の推薦</p> <p>3. 報告事項 （1）令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実地踏査 （2）東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会</p> <p>4. 閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係 担当者名 朝岡・野崎・加治 電話番号 042-393-5111（内線3513） ファックス番号 042-397-5431</p>				

## 会 議 経 過

### 1. 開会

#### 【課長】

皆様こんばんは。第3回目の会議を開催していきたいと思います。  
それでは開会に先立ちまして、議長よりご挨拶をお願いいたします。

#### 【議長】

緊急事態宣言が解除され、感染者が減っているので、このままりバウンドが無いように  
にと思っています。本日は久しぶりの対面会議なので、よろしくお願いします。

### 2. 協議事項

#### 【係長】

東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会についてとなります。  
グループの名簿となりますが、充実したグループワークを行うために、グループ内の  
一定の人数が必要なことや30人の出席を予定していますので、5グループで6人にし  
て、当市の社会教育委員が各グループに2人ずつ入る形でグループを組ませていただ  
きました。当市の社会教育委員の方が、各グループの進行担当者、記録担当者をお願  
いできればと思います。発表者は当日に各グループで選んでいただくこととなります。  
続きまして、会場のレイアウトについてとなり、Eグループの1名の方は講演終了後  
に退席となりますので、ちょうど各グループ6人ずつの5グループとなります。  
続きまして、日程・役割分担で、前回の会議で司会進行について吉満委員を推薦して  
いただきましたので、その内容を追記させていただきました。  
グループワークの内容については、当日の講演内容を実践し、トーク内容の理解を深  
めていく内容となります。グループワークの手順ですが、最初に目的と内容について  
講師の方に説明していただきます。次に個別のワークショップを行います。そして、  
それを踏まえてグループ別のトークセッションを行い、グループ別に発表を行って  
いただくこととなります。当日の進行状況によって、講師から発表グループを指名さ  
せていただきます。そして最後に講師の方に全体共有と統括を行っていただきます。  
その他、ポイントやテーマ等は、当日講師の方から詳しく説明していただくこととな  
ります。そのため、事前に準備していただくことは特にはないと聞いております。  
また、ブロック研修会を録画した映像を関東甲信越静社会教育研究大会のホームペ  
ージに掲載する意見がありました。本来でありましたが、東京大会の分科会として実施  
する予定でしたが、今回は中止となり、その代替案として本内容が行われることとな  
りますので、各市の情報共有のためという提案でしたので、当市で掲載するかにつ  
いて、委員の方で協議していただければと思います。

#### 【議長】

グループを5つにしてください、当市の委員も2名ずつ入っているというグループ分  
けとなりました。A～Eの人数や役割についてはいかがでしょうか。

(全員承認)

座席の配置図についてですが、グループ分けに基づいて、Eグループまでで6人ずつ  
となっていますので、これでよろしいかと思えます。

**【A 委員】**

グループワークでは何を話題にするかは事前に知らされるのでしょうか。

**【議長】**

目的や手順が書かれているので、こちらを元に講師の方が当日説明していただくこととなると思います。私たちが前もって知ることは特にないということでしょうか。

**【係長】**

研修当日に講師の方に当日の流れについて説明していただくということになりますので、特に前もってしていただくことはないということです。ただし、講師の方に要望や質問があったら、28日までに事務局におっしゃっていただければと思います。

**【A 委員】**

何をしようとしているのかが読み取れませんが、今回のテーマは何でしたか。

**【B 委員】**

「ICT普及時代における地域づくり」となっています。

**【C 委員】**

本当は事前に何を行うかを共有しておいたほうが良いかと思いますが、それが無いということは、そこに意図があるのではないかと考えています。

**【A 委員】**

前回の会議時に、事前に資料が送られるということではなかったでしょうか。

**【係長】**

前回の会議終了後、講師の方に送っていただく資料等について確認しましたが、ワークシートのみで他は特にないということでした。

**【B 委員】**

目的のところに、講演内容を実践し、理解を深めるためトークセッションを行うということになっていて、講演のテーマは「新しい時代に向けたコミュニケーションのあり方」となっています。講師の方は自分で流れが出来ているかだと思います。後は、当日司会がスムーズに進めることが出来るようにすればと思います。

**【議長】**

当日の講演内容をどういう風に理解・実践を深めていくこととなり、グループによって進行度合いが異なると思いますが、ここにある目的と手順でよろしいでしょうか。講演内容をどのように受け取るかにより、グループワークの内容が異なると思います。

**【D 委員】**

手順のところ、個別にワークショップを行ったときに、「Let's try」というワークショップをした後にグループワークをするということでもよろしいでしょうか。

**【係長】**

ここは具体的に確認が取れていないので、確認するようにします。

#### 【D 委員】

トークセッションが終わった後に、グループ別発表に入ると思われます。講師から手順を説明していただくこととなっています。各グループ 2 分程度で 30 分取っています。そうすると指名されるということは全てではないということでしょうか。

#### 【B 委員】

進行状況によってとありますので、終わったところから発表するのだと思っています。

#### 【議長】

グループ討議をやった時にはグループで内容が出てきて、その内容を見てから講師が統括する形になるかと思います。講師が選んで指名するというのは、グループ発表の前か後ですが、講師が講演に合う内容を見つけていくことかと考えています。

#### 【C 委員】

グループワークの発表は最後になります。みんな発表させることもあるし、時間によっては、1、2グループで終了するというので、時間で調整すると思います。また、内容については、講師の方にお任せになっていますが、どのくらいの時間をワークショップでやるのかなどの時間配分があってもよいのではないのでしょうか。グループ内では活発な意見交換がある場合となかなか意見が出てこない場合もあるかもしれませんので、決められた時間内に行うにあたり、あったほうが良いかもしれません。

#### 【議長】

手順の時に講師の方が説明していただくとと思いますが、もう少し細かい配分を教えてくださいたいほうが良いかもしれません。また、グループ発表については、講師が選んだグループが発表するのかが分かりませんので、確認が必要かもしれません。講師が狙っている中身については、進行担当としては気になるころなので、もし教えていただければ教えていただければと思います。それが講師の狙いならそれはその形で進めていければと思います。

#### 【C 委員】

テーマも進め方も講師の方にお任せすることになっていますが、このテーマについて、何を学んでいくのかを話し合っ共有したほうがよろしいのではないのでしょうか。

#### 【D 委員】

第4ブロックのテーマは「ICTにおける地域社会のつながり」となります。この講演はその内容に沿った講師を選んでいただいたと思いますが、それがどうやって地域につながっていくのかと考え、話を聞いているわけではないので、何とも言えませんが、それが今回の内容ではテーマに合っているかが分かりません。そのグループワークについて、最初はアイスブレイクなので、そんなに時間がかからないと思いますが、その後の資料を事前に見せてもらってもよいかと思います。今のところでは、当日講師が進めるのでそれに従っていくことになっていくと思います。

#### 【議長】

今回は ICT を使ったコミュニケーションの在り方ということでやっていただいたと思います。それを踏まえて講師と事例を選んでいただいたのでしょうか。

**【係長】**

そのように認識しております。

**【C 委員】**

講演を聞いて自分のものにしていくこととなります。講師の話聞いて自分なりに解釈するのではなく、みんなで共有していく内容になるのではないかと考えています。

**【係長】**

実践してみようということで、ただ講演を聞くのみではなく、その内容を実践していくということをしていきたいという話を聞いております。

**【C 委員】**

ICT というのは新しいコミュニケーションツールとなります。対面で行っているグループワークと ICT がどのようになじんでいくかというのが焦点になるのではないかと推測できますので、ICT の内容は入ってくるのではないかと考えています。

**【E 委員】**

なかの生涯学習サポーターの方は ICT 関連のことを色々行っているようです。

**【議長】**

この会議もコロナの影響で、Zoom を使って行ってきたので、その経験も意見として出てくるかと思えます。もし何かあれば事務局へご連絡いただければと思います。録画についてですが、編集とか講演者の肖像権があるので、いかがでしょうか。

**【係長】**

ホームページにアップロードできる容量が限られていることと、編集作業が出てくることと、講演者・参加者の肖像権等があるので、その辺をクリアしないと行けません。

**【議長】**

東京大会だと業者に依頼等をしているようです。こちらではそのように行うことは難しいので、録画なしでよろしいでしょうか。

(全員承認)

では、協議事項 1 番は以上です。2 番の表彰についてとなります。

**【係長】**

事務局の府中市より、東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰推薦依頼がありました。表彰規程施行細則第 2 条において東京都市町村において委嘱された社会教育委員で、在任年数が毎年 10 月 1 日現在で、5 年以上の方が対象となり、当市では片岡委員が在任期間 6 年 2 か月で要件を満たしておりますので、こちらの会議で承認をいただければ表彰の推薦をしていきたいと考えています。

**【議長】**

今説明がありましたが、片岡委員が 5 年以上の要件を満たしているなので、いかがでしょうか。

(全員承認)

**【議長】**

では、推薦していただくということをお願いできればと思います。

3. 報告事項

(1) 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実地踏査

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会

.....

次回 令和4年2月18日(金) 19時～ 市民センター

.....

4. 閉会

●副議長よりあいさつ

5. 閉会

※資料が必要な方は社会教育課までお問い合わせください